

科目名称：	空間デザイン演習	
担当者名：	渡邊 秀亮	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
2000年以降の国際アート展等を通して、空間芸術を学び、空間の認識・把握のあり方や多様性など幅の広い見方を養う。 多様な鑑賞活動や体験を通して、人間と芸術を多面的に捉える視点を学び、展覧会作り（展示の仕方）に活かす。		
授業の達成目標・到達目標		
様々な芸術作品を鑑賞することにより、豊富な知識、感性、人間性を得る。 これにより、自己の制作・研究により深みをあたえ、より良い展覧会を構成する力にもつなげる。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	授業に対する意欲	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			60	40	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》金沢美術工芸大学非常勤講師	《経験年数1》通年で7年間、その後科目等で5年
	《内容2》金沢市民芸術村アート工房	《経験年数2》9年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ①	授業の内容についてシラバスを確認する	10分
第2回 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ②	越後妻有アートトリエンナーレについて調べておく	20分
第3回 横浜トリエンナーレ①	横浜トリエンナーレについて調べておく	20分
第4回 横浜トリエンナーレ②	横浜トリエンナーレについて調べておく	20分
第5回 あいちトリエンナーレ①	あいちトリエンナーレについて調べておく	20分
第6回 あいちトリエンナーレ②	あいちトリエンナーレについて調べておく	20分
第7回 水と土の芸術祭①	水と土の芸術祭について調べておく	20分
第8回 水と土の芸術祭②	水と土の芸術祭について調べておく	20分
第9回 奥能登国際芸術祭	奥能登国際芸術祭について調べておく	20分
第10回 海外の美術館①	海外の美術館について調べておく	20分
第11回 海外の美術館②	海外の美術館について調べておく	20分
第12回 金沢アートプラットホーム2008	金沢アートプラットホーム2008について調べておく	20分
第13回 変容する家 東アジア文化都市2018金沢	変容する家について調べておく	20分
第14回 金沢21世紀美術館、金沢市民芸術村	金沢21世紀美術館について調べておく	20分
第15回 金沢21世紀美術館鑑賞(フィールドワーク)	金沢21世紀美術館について調べておく	20分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 レポート60%、授業に対する意欲40%の割合で評点を算出する。</p>		
<p>課題に対するフィードバック</p> <p>質問やコメントに対しては、その都度対応する。レポートは添削して返却する。</p>		
<p>教科書・参考書</p> <p>教科書は無し プリント配布</p>		